

南平石工業 (松江市)	管 鋼構造物 水道施設 合計	632 569 636	25,320 395 12,679 38,394	589 402 542	641 476 607	4/1	636	7/6	-0.041	55.7	-23.017	27,028	44,071	14,033.1
藤ひらぎの (松江市)	土木一式 建築一式 合計	661 917	10,919 1,805,527 1,816,446	533 1,104	585 1,035	804	902	630	1,258	22,488	22,728	2,207,767	2,262,609	14,043.30

④第4
■平田消防署庁舎給排水衛生設備工事=①平田町②S3F(3棟)1,443.08㎡、散水栓等屋外設備工事③16年3月15日④第4
■平田消防署庁舎空調設備工事=①平田町②S3F(3棟)1,443.08㎡③16年3月15日④第4
■工事=①平田町②3.08㎡他外構工事③16年3月15日④第4

器修繕③3ヵ月④第4
<道路建設課>
■坂田阿宮線舗装工事=①斐川町荏原②L60m・W11.50m③5ヵ月④第4
<道路河川維持課>
■朝山117号線道路災害復旧工事26災65号=①見々々町②L7.8m。ブロック積39㎡③2ヵ月④第4
■福岡屋線道路災害復旧工事26災66号=①佐田町東村②L10.5m。ブロック積48㎡③2ヵ月④第4

14、仮〜1③3ヵ月④第4
■来原浄水場外計装設備更新工事=①市内②残塩計3台、流量計3台③3ヵ月④第4
<下水道建設課>
■阿宮農集管渠施設工事(下阿宮4工区)=①斐川町阿宮②汚水管(塩ビφ150)L240m③3ヵ月④第4
■杵築処理区分赤塚工区管渠工事=①大社町杵築西②汚水管(塩ビφ200φ150)L177m・開削③3ヵ月④第4

2015年(平成27年)1月28日(水曜日) 建設興業タイムス

しまねをサポートする

ASPE 島根県技術士会は創立30周年を迎えました

30周年記念式典・新年例会

日時：平成27年1月31日(土)
場所：ホテル穴道湖(鳳凰の間)

●新年例会(研究発表会)10:30~15:30
(昼休憩1時間)

- 発表内容(予定)
- | | |
|--------------|---------------|
| 水資源・水環境分科会 | 生物多様性研究分科会 |
| 島根の地域振興研究分科会 | 江の川橋梁群調査研究分科会 |
| 庭園文化研究分科会 | 防災部会 |
| 今福線研究分科会 | |

●記念式典 16:00~17:00

●祝賀会 17:20~19:30
記念式典終了後、ホテル穴道湖(高砂の間)で開催

事務局：出雲市 斐川町荏原 2226-1 樹コスモ建設コンサルタント内 TEL:0853-72-1171

21世紀の技術者は、若くして技術士を取得することが求められています。技術士として働きながら、専門的な技術力を高め、総合技術監理能力を高め、本物の技術士に成長していくことが、日本の技術者の生きのびる道だと思えます。

島根県がこれからも持続的な発展を続け、産業の発展と快適に住みやすい県土づくりのため、技術士としての誇りを持って、会員が力を合わせ、邁進して行きたいと考えております。引き続き、島根県技術士会へのご支援をお願いいたします。

2000年(平成12年)には、新たに総合技術監理部門が創設され、現在、65名が総合技術監理部門に登録し、総合的な技術マネジメントや若手技術者への継続教育などで活躍しています。創立20周年を迎えた2004年(平成16年)は、人間であれば成人式を迎えた年になります。会員数も200名に達する勢いとなりました。

本年、30歳を迎えた島根県技術士会のこれからの10年は、どんな年になるのでしょうか。歴史を重ねてきた技術士は、後輩となる若い技術者の育成に邁進しなければなりませんし、若い技術士は時代に負けない新しい技術を習得し、島根県の発展のために頑張らなくてはならないでしょう。

2000年(平成12年)には、新たに総合技術監理部門が創設され、現在、65名が総合技術監理部門に登録し、総合的な技術マネジメントや若手技術者への継続教育などで活躍しています。創立20周年を迎えた2004年(平成16年)は、人間であれば成人式を迎えた年になります。会員数も200名に達する勢いとなりました。

本年、30歳を迎えた島根県技術士会のこれからの10年は、どんな年になるのでしょうか。歴史を重ねてきた技術士は、後輩となる若い技術者の育成に邁進しなければなりませんし、若い技術士は時代に負けない新しい技術を習得し、島根県の発展のために頑張らなくてはならないでしょう。

島根県技術士会は、多くの皆様に支えられて、本年で30周年の記念すべき年を迎えることとなりました。本会は、これまで、技術士としての技術研鑽に励み、様々な立場で地域の発展に協力してきたのではないかと思っております。これもひとえに、多くの皆様の励ましとご支援の賜物であり、本会会員一人一人の努力のおかげと心より感謝しております。

これまでの本会の歴史を振り返ってみると、1985年(昭和60年)に「島根県技術士懇談会」を設立、15名で活動を開始いたしました。おかげさまで、現在の会員数は約300名という大所帯となり、島根県では有数の技術者集団に成長しております。会員の年齢構成は、幅広く、20代の若手技術士から80代の熟練技術士が、会員に名を連ねています。年齢を超えた技術交流や若手への技術移転を積極的に進めているのも本会の特筆すべき点だと思っております。

その登録部門は、建設部門はもとより、金属、上下水道、衛生工学、農業、森林、水産、情報工学、応用理学、環境、経営工学、電気電子、総合技術監理など13の科学部門となっており、会員は産学官の幅広い分野で活躍しております。

創立10周年を迎えた1994年(平成6年)には、会員数は、46名となりました。この頃から、技術士の知名度も高まり、特に、建設コンサルタント業務では、技術士の資格が重要視されることとなってきたことから、多くの技術者が技術士の資格取得にチャレンジしてきました。

